

北海道の交通事故概況（9月末確定数）

1 平成30年9月末の交通事故発生状況

区分\内容	9月中	9月末	
		前年比	前年比
発生件数(件)	693	-223	7,106
傷者数(人)	824	-266	8,253
死者数(人)	12	-5	104

[過去10年、9月中、9月末及び年間死者の推移]

区分\年別	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	過去平均		H30年
											10か年	5か年	
9月中死者	22	22	20	18	12	23	24	17	15	17	19	19	12
9月末死者	155	147	147	124	133	124	128	132	103	106	130	119	104
年間死者	228	218	215	190	200	184	169	177	158	148	189	167	—

都道府県別（9月中）

順位	1	2	3	4		
都道府県名	千葉県	愛知県	東京都	北海道	神奈川県	新潟県
死者数	20	17	16	12		

都道府県別（9月末）

順位	1	2	3	5
都道府県名	愛知県	千葉県	埼玉県	北海道
死者数	142	131	130	104

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 9月中の死亡事故（死者12人）

- 事故類型別：正面衝突が4人(33.3%)、人対車両、車両単独が各々2人(16.7%)
- 道路別：国道が6人(50.0%)、道道、市町村道が各々3人(25.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地カーブが各々4人(33.3%)
- 発生時間別：4～6時が4人(33.3%)、10～12時が3人(25.0%)
- 第一当事者年齢別：40歳代による死者が4人(33.3%)、25～29歳、高齢者による死者が各々2人(16.7%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が8人(66.7%)、最高速度が2人(16.7%)
- 死者年齢別：高齢者が5人(41.7%)、40歳代が2人(16.7%)

(2) 9月末の死亡事故（死者104人）

- 事故類型別：
 - ・正面衝突が30人28.8%（うち前方不注意が13人43.3%）
 - ・人対車両が29人27.9%（うち前方不注意が11人37.9%）
 - ・車両単独が24人23.1%（うち前方不注意が13人54.2%）
- 道路別：
 - ・国道が51人49.0%（うち正面衝突が19人37.3%）
 - ・道道が29人27.9%（うち車両単独が9人31.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が30人28.8%（うち人対車両が21人70.0%）
 - ・非市街地直線が27人26.0%（うち車両単独が11人40.7%）
- 発生時間別：
 - ・8～10時が15人14.4%（うち正面衝突、車両単独が各々4人26.7%）
 - ・10～12時が15人14.4%（うち車両単独が8人53.3%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・高齢者による死者が29人27.9%（うち車両単独が14人48.3%）
 - ・40歳代による死者が19人18.3%（うち正面衝突が7人36.8%）
- 第一当事者違反別：
 - ・前方不注意が44人42.3%（うち正面衝突、車両単独が各々13人29.5%）
 - ・操作不適が16人15.4%（うち正面衝突が9人56.3%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が55人52.9%（うち人対車両が18人32.7%）
 - ・40歳代の死者が12人11.5%（うち正面衝突が7人58.3%）
 - ・50歳代の死者が12人11.5%（うち人対車両が5人41.7%）
- シートベルト非着用者：

自動車（二輪を除く）乗車中の死者60人中、シートベルト非着用者は21人(35.0%)であり、うち運転席8人、助手席3人、後部席4人はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

9月中の死者は札幌方面と函館方面が各々5人(41.7%)で最も多く、次いで旭川方面が2人(16.7%)となっている。

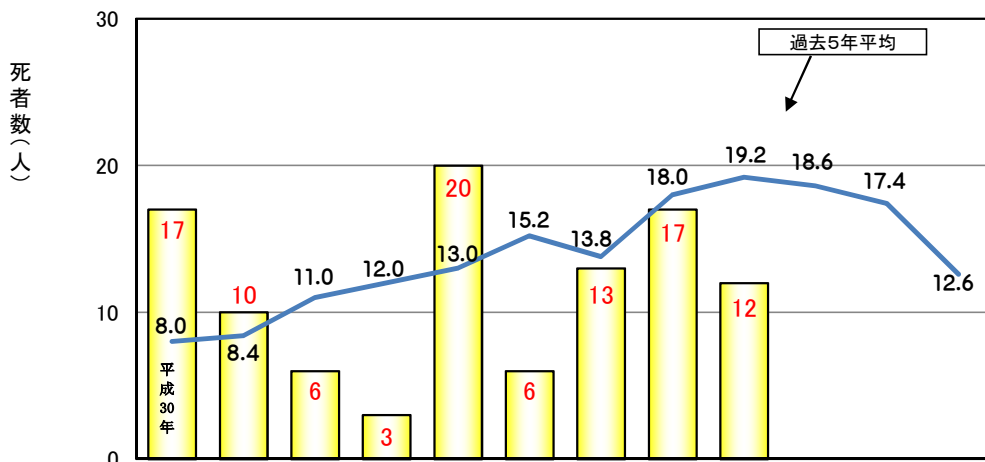
9月末の死者は札幌方面が45人(43.3%)で最も多く、次いで旭川方面が24人(23.1%)、釧路方面が18人(17.3%)となっている。

方面別\区分	発生件数		傷者数		死者数	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
全道	693	-223	824	-266	12	-5
9月中						
札幌方面	486	-171	569	-177	5	-4
函館方面	58	-7	72	-3	5	5
旭川方面	67	-21	79	-25	2	
釧路方面	66	-7	80	-46		-4
北見方面	16	-17	24	-15		-2

方面別\区分	発生件数		傷者数		死者数	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
全道	7,106	-732	8,253	-961	104	-2
9月末						
札幌方面	4,942	-705	5,724	-797	45	-7
函館方面	554	-54	632	-130	9	1
旭川方面	751	46	894	36	24	9
釧路方面	636	-14	739	-46	18	-2
北見方面	223	-5	264	-24	8	-3

(4) 月別発生状況の推移

9月中の死者は12人で過去5年平均19.2人を、9月末累計は104人で過去5年平均118.6人を、ともに下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年	17	10	6	3	20	6	13	17	12				104
年間累計	17	27	33	36	56	62	75	92	104				
過去5年平均	8.0	8.4	11.0	12.0	13.0	15.2	13.8	18.0	19.2	18.6	17.4	12.6	167.2
累計平均	8.0	16.4	27.4	39.4	52.4	67.6	81.4	99.4	118.6	137.2	154.6	167.2	

(5) 都道府県別死者

9月中は、千葉県が20人で最も多く、次いで愛知県が17人、東京都が16人と続き、北海道は12人で神奈川県、新潟県と並び4番目となっている。

9月末は、愛知県が142人で最も多く、次いで千葉県が131人、埼玉県が130人の順になっており、北海道は104人で5番目となっている。

区分\都道府県	愛知	千葉	埼玉	神奈川	北海道	兵庫	福岡	東京	大阪	茨城	全国
9月中死者数	17	20	9	12	12	10	7	16	11	8	279
ワースト順位	2	1	11	4	4	9	14	3	7	12	—
前年比	+1	+6	-6	+2	-5	-2	-6	+1	+2	-7	-20
増減率(%)	+6.3	+42.9	-40.0	+20.0	-29.4	-16.7	-46.2	+6.7	+22.2	-46.7	-6.7
9月末死者数	142	131	130	111	104	102	99	97	94	85	2,458
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—
前年比	+2	+27	+9	+15	-2	-7	+1	-22	-10	-21	-140
増減率(%)	+1.4	+26.0	+7.4	+15.6	-1.9	-6.4	+1.0	-18.5	-9.6	-19.8	-5.4

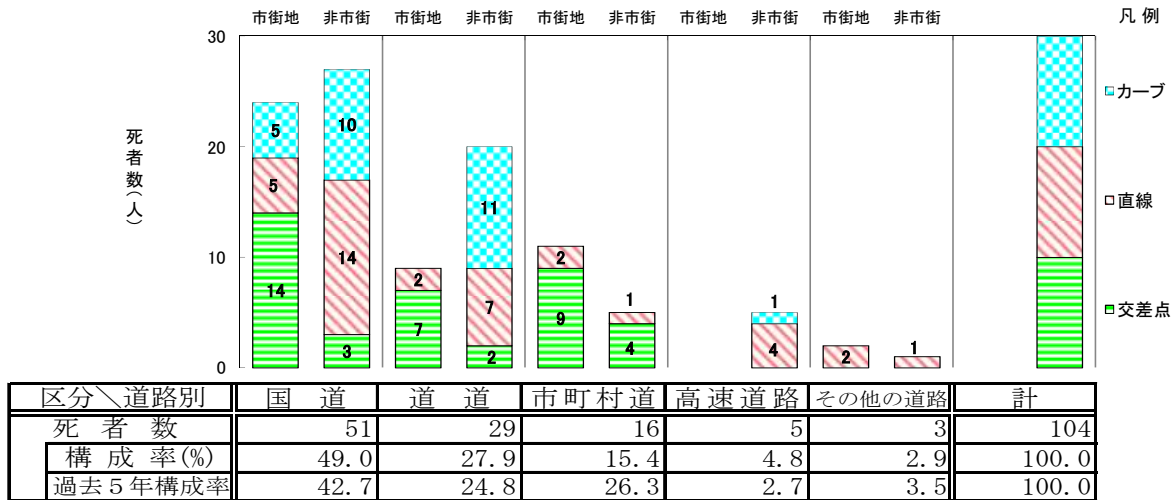
3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が51人(49.0%)で最も多く、次いで道道が29人(27.9%)となっている。

- ・ 国道は市街地交差点と非市街地直線が各々14人(27.5%)
- ・ 道道は非市街地カーブが11人(37.9%)

で、最も多くなっている。

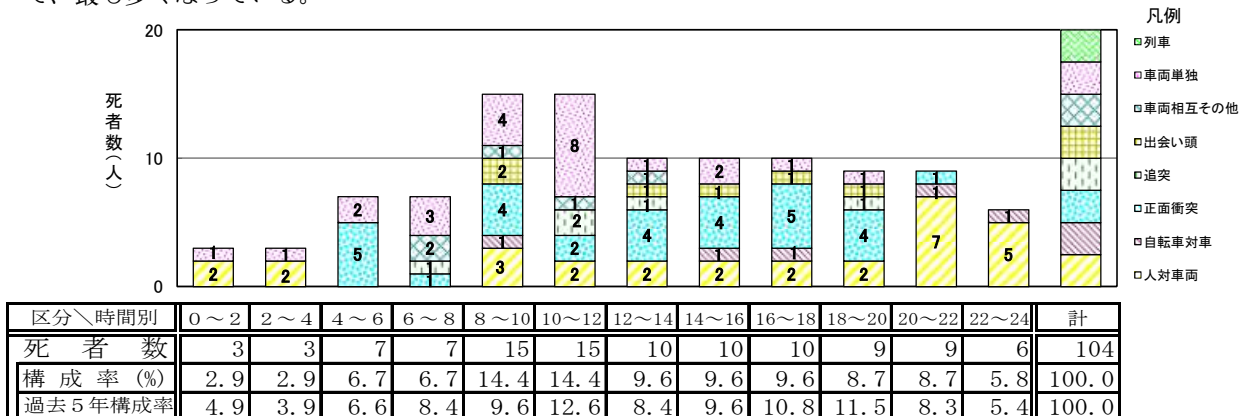


(2) 時間別

8～10時と10～12時が各々15人(14.4%)で最も多くなっている。

- ・ 8～10時は、正面衝突と車両単独が各々4人(26.7%)
- ・ 10～12時は、車両単独が8人(53.3%)

で、最も多くなっている。

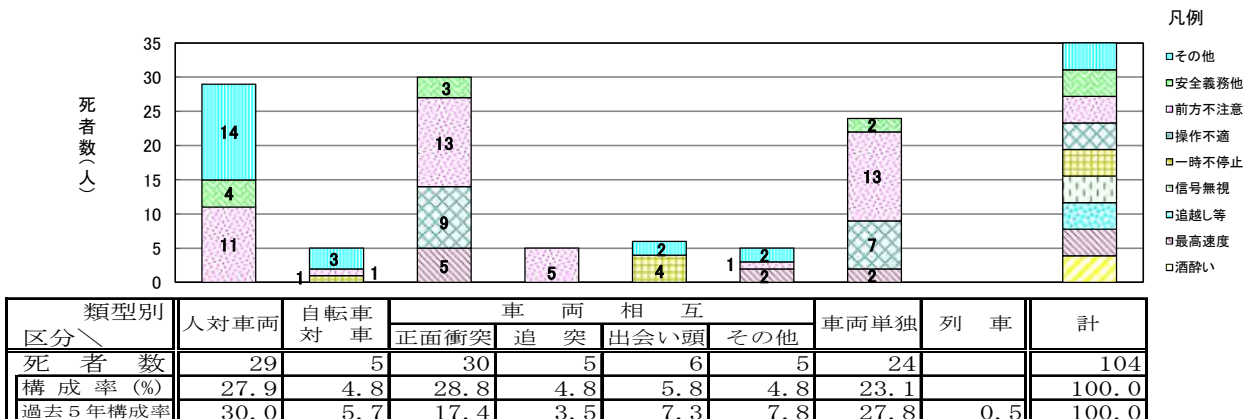


(3) 事故類型別

正面衝突が30人(28.8%)で最も多く、次いで人対車両が29人(27.9%)となっている。

- ・ 正面衝突は、前方不注意が13人(43.3%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が11人(37.9%)

で、最も多くなっている。

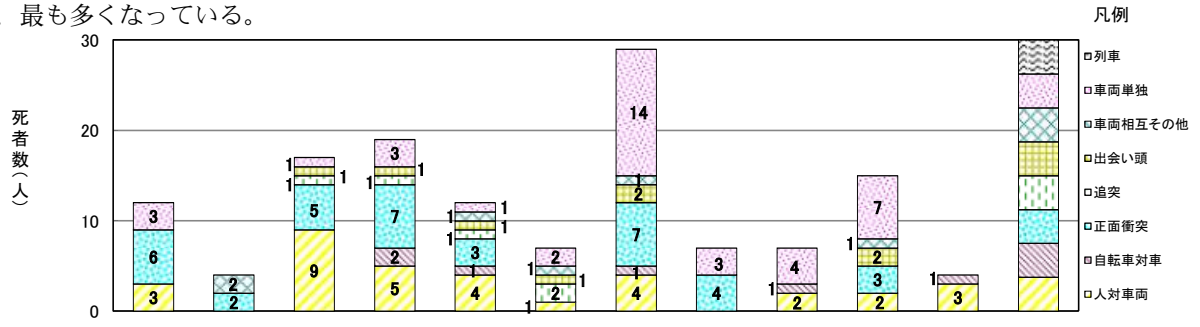


(4) 第一当事者の年齢層別

高齢の運転者によるものが29人(27.9%)で最も多く、次いで40歳代の運転者によるものが19人(18.3%)となっている。

- ・ 高齢の運転者は、車両単独が14人(48.3%)
- ・ 40歳代の運転者は、正面衝突が7人(36.8%)

で、最も多くなっている。



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	12	4	17	19	12	7	29	7	7	15	4	104
構成率(%)	11.5	3.8	16.3	18.3	11.5	6.7	27.9	6.7	6.7	14.4	3.8	100.0
過去5年構成率	9.8	7.8	13.7	16.0	16.2	7.6	27.2	8.8	6.2	12.1	1.9	100.0

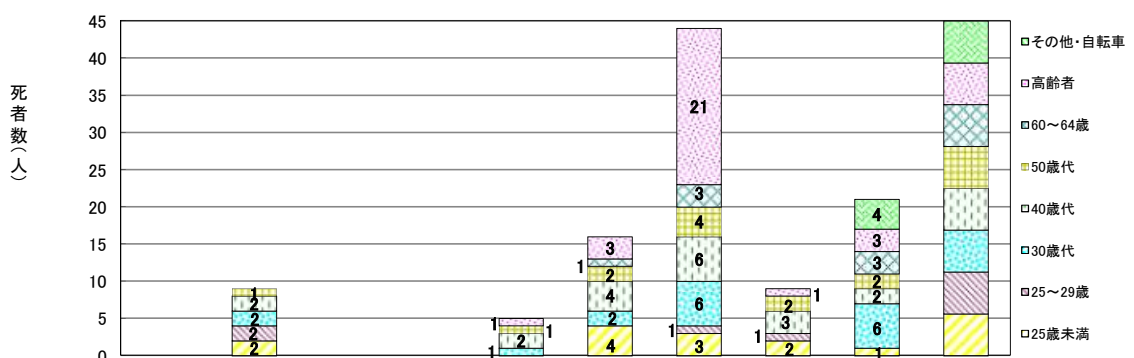
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意が44人(42.3%)で最も多く、次いで操作不適が16人(15.4%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢の運転者が21人(47.7%)
- ・ 操作不適は、25歳未満、40歳代の運転者が各々4人(25.0%)

で、最も多くなっている。



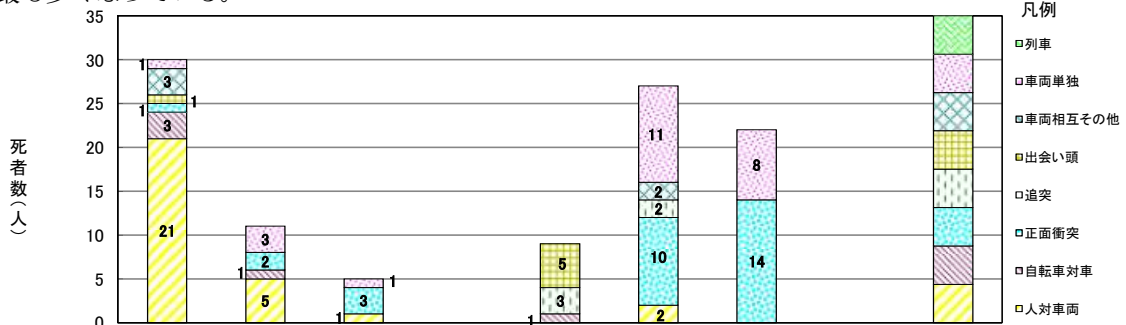
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数		9			5	16	44	9	21	104
構成率(%)		8.7			4.8	15.4	42.3	8.7	20.2	100.0
過去5年構成率	3.2	13.7	1.7	2.9	4.4	15.3	31.0	7.8	20.1	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が30人(28.8%)で最も多く、次いで非市街地直線が27人(26.0%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が21人(70.0%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が11人(40.7%)

で、最も多くなっている。



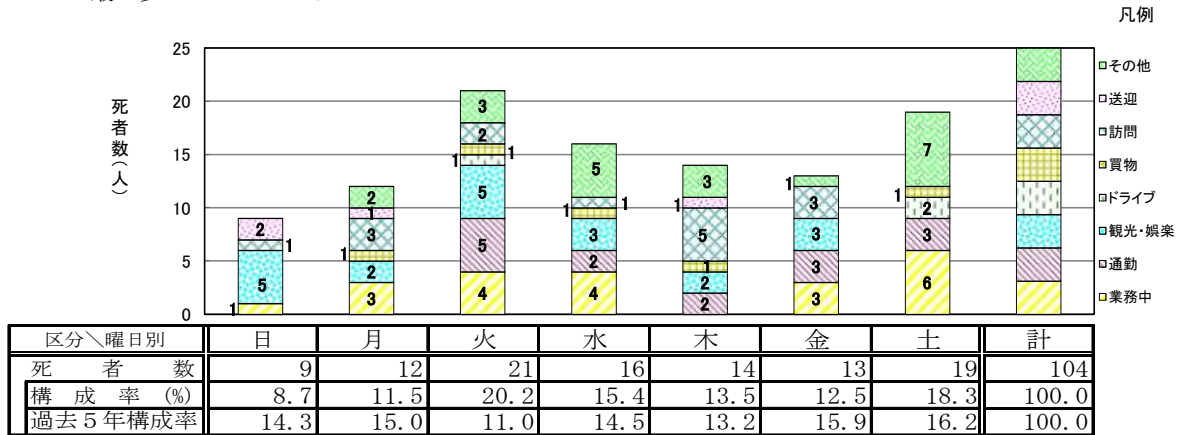
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	30	11	5	46	9	27	22	58	104
構成率(%)	28.8	10.6	4.8	44.2	8.7	26.0	21.2	55.8	100.0
過去5年構成率	30.0	15.2	2.5	47.7	9.1	24.3	18.9	52.3	100.0

(7) 曜日別

火曜日が21人(20.2%)で最も多く、次いで土曜日が19人(18.3%)となっている。

- ・ 火曜日は、通勤、観光・娯楽が各々5人(23.8%)
- ・ 土曜日は、業務中が6人(31.6%)

で、最も多くなっている。

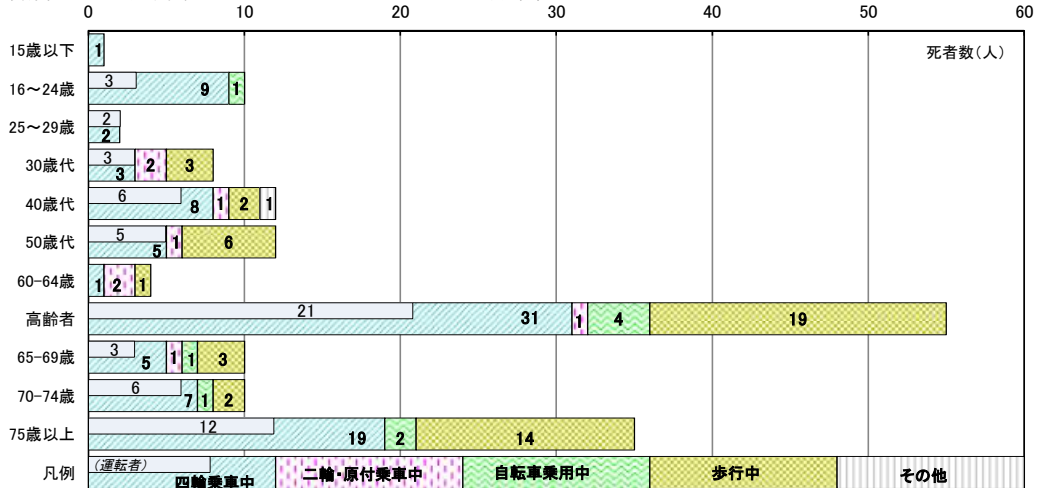


(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が60人(57.7%)で最も多く、次いで歩行中が31人(29.8%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢者が31人(51.7%)
- ・ 歩行中は、高齢者が19人(61.3%)

年齢層別では、高齢者が55人(52.9%)で、うち75歳以上が35人(63.6%)となっている。



状態別 年齢層別\		四輪 乗車中	二輪 (原付を含 む) 乗車中	特殊車 乗車中	自転車 乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数	1						1	1.0	1.7
16~24歳	死者数	9				1		10	9.6	6.9
25~29歳	死者数	2						2	1.9	5.2
30歳代	死者数	3	2				3	8	7.7	7.6
40歳代	死者数	8	1			2	1	12	11.5	8.6
50歳代	死者数	5	1				6	12	11.5	13.3
60~64歳	死者数	1	2				1	4	3.8	6.7
高齢者	死者数	31	1			4	19	55	52.9	49.9
65~69歳	死者数	5	1		1		3	10	9.6	9.4
70~74歳	死者数	7			1		2	10	9.6	9.4
75歳以上	死者数	19				2	14	35	33.7	31.0
計	死者数	60	7			5	31	104	100.0	
	構成率	57.7	6.7			4.8	29.8	100.0	—	—
	過去5年構成率	51.4	10.1		1.2	6.4	30.5	100.0	—	—

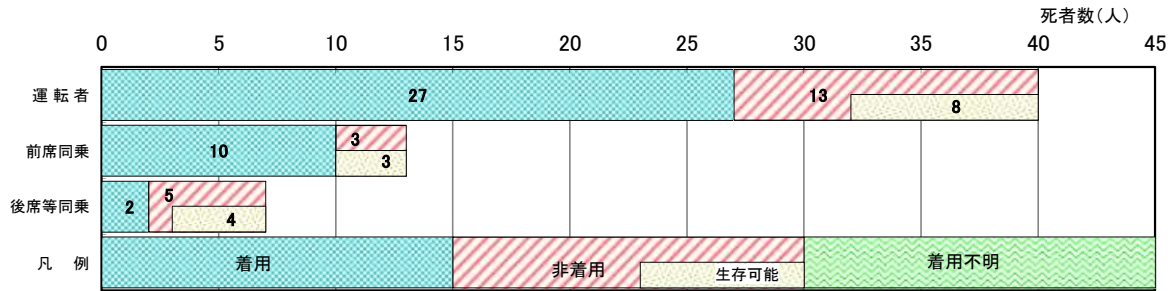
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者60人中、シートベルト非着用者は21人(35.0%)となっている。

非着用者21人(運転席13人、助手席3人、後部席5人)のうち、15人(71.4%)は車両の破損状況等からみて、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中	着用				非着用			着用不明	着用不明		
		計	運転者	同乗者		計	運転者	同乗者(助手席)			同乗者(後部席)	
平成30年	60	39	27	10	2	21	13	8	3	5	4	
構成率(%)	100.0	65.0	69.2	25.6	5.1	35.0	61.9	61.5	14.3	100.0	23.8	80.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が9人(42.9%)で最も多くなっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
ベルト着用	7	1	2	3	3	1	22	5	5	12		39
構成率(%)	17.9	2.6	5.1	7.7	7.7	2.6	56.4	12.8	12.8	30.8		100.0
ベルト非着用	3	1	1	5	2		9		2	7		21
構成率(%)	14.3	4.8	4.8	23.8	9.5		42.9		9.5	33.3		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者21人のうち、人身損傷加害部位をみると、「車内他」が6人(28.6%)で最も多くなっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用	1		9	2	3	3	2	3	5	9	2	39
構成率(%)	2.6		23.1	5.1	7.7	7.7	5.1	7.7	12.8	23.1	5.1	100.0
ベルト非着用	1	1	5	3	1		1		2	6	1	21
構成率(%)	4.8	4.8	23.8	14.3	4.8		4.8		9.5	28.6	4.8	100.0
運転者	1	1	5	2			1		1	1	1	13
構成率(%)	4.8	4.8	23.8	9.5			4.8		4.8	4.8	4.8	61.9
同乗者					1	1			1	5		8
構成率(%)					4.8	4.8			4.8	23.8		38.1

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。